



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 京阪ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9045 URL <https://www.keihan-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石丸 昌宏
 問合せ先責任者 (役職名) グループ管理室 経理部長 (氏名) 城野 教雄 TEL 06-6944-2527
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	182,908	△25.9	270	△99.1	749	△97.6	△1,593	—
2020年3月期第3四半期	246,932	8.9	31,437	23.6	30,690	25.2	21,242	34.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △3,352百万円(ー%) 2020年3月期第3四半期 22,651百万円(56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△14.87	—
2020年3月期第3四半期	198.18	198.13

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	753,728	248,826	32.4
2020年3月期	732,824	254,058	34.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 244,315百万円 2020年3月期 249,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	257,200	△18.9	△1,300	—	△600	—	△3,400	—	△31.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	113,182,703株	2020年3月期	113,182,703株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	5,999,663株	2020年3月期	5,997,108株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	107,184,120株	2020年3月期3Q	107,188,053株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

「2021年3月期第3四半期 決算補足資料」は本日、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、当社グループでは、各事業にわたりすべてのお客さまに「安全安心」にご利用いただけるよう新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施しながら営業活動を行い、業績の向上に努めました。しかしながら、同感染症拡大によるインバウンド需要の減少や国内における外出自粛の影響から大幅な減収となりました。これらの結果、営業収益は182,908百万円（前年同期比64,024百万円、25.9%減）、営業利益は270百万円（前年同期比31,166百万円、99.1%減）となり、これに営業外損益を加減した経常利益は749百万円（前年同期比29,940百万円、97.6%減）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した親会社株主に帰属する四半期純損失は1,593百万円（前年同期は21,242百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①運輸業

鉄道事業やバス事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅客数が大幅に減少したほか、京阪電気鉄道(株)が運営するひらかたパークで入場人員が減少したことなどもあり、減収となりました。

これらの結果、運輸業全体の営業収益は49,003百万円（前年同期比23,671百万円、32.6%減）となり、営業損失は7,263百万円（前年同期は11,630百万円の営業利益）となりました。

②不動産業

不動産販売業におきましては、「南草津プリムタウン」などの土地建物の販売が堅調に推移しましたが、前年同期の「ザ・京都レジデンス御所東」「ファインシティ札幌ザ・ノースゲート」などのマンション販売の反動により、減収となりました。

不動産賃貸業におきましては、前期に取得した「虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」（当社は区分所有権を保有）「GOOD NATURE STATION（グッド ネイチャー ステーション）」が通期寄与したほか、不動産ファンド収入が増加したことなどにより、増収となりました。

これらの結果、不動産業全体の営業収益は76,013百万円（前年同期比8,232百万円、9.8%減）となり、営業利益は15,168百万円（前年同期比667百万円、4.6%増）となりました。

③流通業

百貨店業やショッピングモールの経営におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い2020年4月に発令された緊急事態宣言を受け、各店舗・施設の休業や営業規模の縮小を実施したことなどにより、減収となりました。

ストア業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による鉄道利用者の減少に伴う駅ビジネス事業やCVS事業の苦戦などにより、減収となりました。

これらの結果、流通業全体の営業収益は61,881百万円（前年同期比13,490百万円、17.9%減）となり、営業利益は771百万円（前年同期比2,070百万円、72.9%減）となりました。

④レジャー・サービス業

ホテル事業におきましては、「ホテル京阪名古屋」「ホテル京阪京都駅南」「ホテル京阪仙台」の3店を開業しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い2020年4月に発令された緊急事態宣言を受け、各店舗の休業や営業規模の縮小を実施したことなどにより、前年同期と比較して稼働率が大きく低下いたしました。

これらの結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は7,483百万円（前年同期比19,724百万円、72.5%減）となり、営業損失は7,786百万円（前年同期は3,127百万円の営業利益）となりました。

⑤その他の事業

その他の事業におきましては、前期に開業した「GOOD NATURE STATION」が通期寄与し、その他の事業全体の営業収益は2,292百万円（前年同期比178百万円、8.4%増）となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による同施設の一部休業・営業規模の縮小などにより、営業損失は982百万円（前年同期は414百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や販売土地及び建物が増加したことなどにより、前連結会計年度末から20,904百万円(2.9%)増加し、753,728百万円となりました。

負債につきましては、有利子負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末から26,136百万円(5.5%)増加し、504,902百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が減少したことなどにより、前連結会計年度末から5,232百万円(2.1%)減少し、248,826百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表数値(2020年11月5日)から変更はありません。

※前回公表数値は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の再発令などは行われぬという前提を置き算定したものとなっております。今般、2021年1月14日に大阪府や京都府において緊急事態宣言が発令され、時短営業や外出自粛の要請が行われたことにより、当社グループの業績への影響が想定されます。しかしながら、現時点では影響を合理的に算定することが困難であるため、前回公表数値を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,918	30,013
受取手形及び売掛金	21,947	20,912
有価証券	2,178	1,085
販売土地及び建物	123,881	130,652
商品	1,836	1,930
その他	12,617	13,557
貸倒引当金	△364	△625
流動資産合計	177,016	197,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	222,247	219,310
機械装置及び運搬具(純額)	17,412	16,529
土地	223,746	223,680
建設仮勘定	5,477	10,157
その他(純額)	10,166	10,265
有形固定資産合計	479,049	479,944
無形固定資産		
投資その他の資産	8,576	8,242
投資有価証券	44,680	41,879
長期貸付金	411	316
繰延税金資産	10,163	11,927
退職給付に係る資産	598	667
その他	12,614	13,431
貸倒引当金	△286	△205
投資その他の資産合計	68,182	68,016
固定資産合計	555,808	556,202
資産合計	732,824	753,728

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,450	11,589
短期借入金	75,224	63,626
短期社債	7,999	—
1年内償還予定の社債	20,039	30,004
未払法人税等	4,187	4,339
前受金	6,293	12,040
賞与引当金	2,971	1,046
商品券等引換損失引当金	702	754
その他	40,827	38,686
流動負債合計	167,695	162,087
固定負債		
社債	80,000	100,000
長期借入金	143,869	156,369
長期未払金	369	310
繰延税金負債	8,825	8,502
再評価に係る繰延税金負債	33,046	33,046
役員退職慰労引当金	228	182
退職給付に係る負債	19,093	18,943
その他	25,636	25,458
固定負債合計	311,069	342,814
負債合計	478,765	504,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,466	51,466
資本剰余金	28,792	28,792
利益剰余金	150,926	147,457
自己株式	△21,640	△21,652
株主資本合計	209,545	206,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,648	4,363
土地再評価差額金	36,375	36,374
為替換算調整勘定	71	△53
退職給付に係る調整累計額	△2,904	△2,433
その他の包括利益累計額合計	40,191	38,251
新株予約権	110	144
非支配株主持分	4,212	4,366
純資産合計	254,058	248,826
負債純資産合計	732,824	753,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益	246,932	182,908
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	182,891	151,861
販売費及び一般管理費	32,604	30,775
営業費合計	215,495	182,637
営業利益	31,437	270
営業外収益		
受取利息	41	33
受取配当金	944	565
雇用調整助成金	—	1,369
雑収入	700	1,161
営業外収益合計	1,686	3,129
営業外費用		
支払利息	1,668	1,567
持分法による投資損失	108	24
雑支出	656	1,059
営業外費用合計	2,433	2,651
経常利益	30,690	749
特別利益		
投資有価証券売却益	827	3,406
補助金	385	460
固定資産売却益	11	47
工事負担金等受入額	507	24
受取補償金	1,093	—
その他	6	—
特別利益合計	2,831	3,939
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	947
減損損失	38	192
固定資産除却損	344	113
固定資産圧縮損	930	20
その他	—	131
特別損失合計	1,313	1,404
税金等調整前四半期純利益	32,208	3,283
法人税、住民税及び事業税	9,582	6,106
法人税等調整額	846	△1,405
法人税等合計	10,428	4,701
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,779	△1,417
非支配株主に帰属する四半期純利益	537	176
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	21,242	△1,593

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,779	△1,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	599	△2,281
退職給付に係る調整額	226	471
持分法適用会社に対する持分相当額	45	△125
その他の包括利益合計	871	△1,935
四半期包括利益	22,651	△3,352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,091	△3,533
非支配株主に係る四半期包括利益	559	180

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループにおける新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響については、2021年1月14日に大阪府や京都府において緊急事態宣言が発令されたものの、当連結会計年度の第2四半期報告書に記載した同感染症拡大に伴う影響の収束時期等の仮定について、重要な変更はありません。

しかしながら、同感染症の影響については不確定要素が多く、当社グループの経営成績等に重要な影響を及ぼす可能性があります。